



みんなでもちつきに挑戦／西目幼稚園（12月15日）

こんにちは！

由利本荘市議会です

12月定例会

- 議論の中からピックアップ ▶P2
- ここが聞きたい 一般質問 ▶P5
- 請願と陳情結果 ▶P10
- お知らせします 議会の動き ▶P11
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶P12



そら組、うみ組の年長43人のみなさん

由利本荘市議会だより
平成30年／2018年2月1日 第51号



西目中学校 2年
鈴木 椿彩 さん
(渦端)

これからを叶える

私 はこの夏、本荘第一病院で職場体験をさせていただきました。働くことは、人のためや自分の成長につながることで、協力して何かを成し遂げるとは職場でも役立つことを地域の方々とのお付き合いを通して学びました。このことにより、人の意見に流され、ただ漠然と毎日を過ごしていた自分を省み、何気なく過ごしていた当たり前の日々について深く考えるようになりました。

私は目標として「叶」という字を掲げています。この字には、自分の意志を強く持ち、将来の夢に向けて当たり前のことを大事にできるという理想や決意が込められています。一日ずつ確かな目標をもって具体的な行動に反映させながら目標を叶えていきたいです。



子吉小学校 6年
藤原 響 さん
(薬師堂)

未来の由利本荘市へ

ほ たちが住む秋田県由利本荘市は、山、森、田園に囲まれ、自然がとても豊かです。秋になると山々が綺麗に色づき、田園は緑から小麦色へと変化し、県名の「秋田」にとっても合っています。昨年9月に、東京にいるいとこが来ました。山に虫をとりに行くと「こんな虫、見たことない！珍しい。」と話していました。この由利本荘市には、東京にはない自然があつていいと思いました。また、このように豊かな山や森、田園風景がしっかり残っているのは、すごくてきなことだと思います。

今日までずっと守られてきた豊かな自然が、これからもずっと守り続けられて、未来の由利本荘市に残して欲しいです。

まちの声から



岩城地域（新町）
徳山 あゆみ さん

あいさつの輪を広げよう

「おはようございます」朝から響く子供達の声は、人も町も元気にしてくれれます。元気でさわやかなあいさつができる、そんな子供達を育てていこうと、学校・地域・家庭が共通意識を持って「あいさつ運動」に取り組んでいます。

「あいさつ」をすることは、とても大事である大人も子供もみんな知っています。時と場に応じたあいさつをすることは、シンプルですが実はなかなか難しいことです。

子供達が自らすすんで気持ちの良いあいさつをする姿で、地域の人たちをもっともっと元気づけることができるよう、2018年もあいさつがあふれる町づくりに親の1人として力を尽くしていきたいと思っています。



編集後記

今年も2つの大きなイベントが予定されています。1つ目は由利本荘市由利地域町村に整備される「鳥海山木のおもちゃ美術館」が7月1日（全国で4番目）にオープン予定です。由利鉄のおもちゃ列車で多世代交流の場へあそびに行きませんか。

2つ目は総合防災公園アリーナが10月オープン予定です。東北最大級の広さを誇るメインアリーナをはじめ、スポーツ・文化を通じた交流拠点、防災拠点として地域活性化の原動力となるでしょう。

今号より、表紙のテーマは「笑顔」です。議会報編集委員の撮影班が参りましたらとびっきり笑顔をお願いしますね。

(吉田朋子)

議会報編集特別委員会

- 委員長 伊藤 岩
- 副委員長 岡田 善
- 委員 吉田 朋子
- 正野 英修
- 今野 隆一
- 佐々木 浩一
- 小松 一

鳥海荘の改修

鳥海荘のふれあい館（滞在型施設）の照明設備、内外装、屋根などの改修を行っています。事業費は3470万円の見込みです。

問 進捗状況は。

答 屋根と外壁は改修済みで、照明設備と内装は、来客者に配慮しながら各階ごとに工事している。



鳥海荘全景



改修の完了したあっぱの露店風呂

鳥海山の眺望や泉質の良さから、お客さまから好評を博しています

平成30年産主食用米「生産の目安」

生産数量目標の配分が廃止され「生産の目安」が提示されます。

問 生産調整の廃止により、平成30年以降の主食用米生産の取り組みは。

答 本市の地域農業再生協議会が「平成30年度からの米生産に関する方針」を定め、需要に応じた米生産を行うために「生産の目安」を提示し、消費者から選ばれる米産地になるよう取り組む。



平成30年産米の生産調整はこうなる

総合防災公園(由利本荘アリーナ)指定管理者の指定

由利本荘アリーナや屋根付きグラウンドなどを含めた総合防災公園の指定管理者が、平成30年7月から平成35年3月までの4年9カ月間、ミズノグループに決まりました。

問 ミズノグループの詳細は。

答 大阪に本社を持つ美津濃(株)、ミズノスポーツサービス(株)のグループで、代表者は代表取締役 水野明人氏である。

全国で直営を含め、公共スポーツ施設の指定管理や企画運営事業などに幅広く取り組んでいる。

※なお、同グループは総合体育館・スポーツ広場を含むばぼろ健康運動広場の指定管理者にも決定されました。

問 工事の進捗状況は。

答 平成29年11月末現在、アリーナの進捗率は76.5%、屋根付きグラウンドは65%である。両施設とも平成30年6月完成する予定となっている。

※12月末現在、アリーナの進捗率は82.3%、屋根付きグラウンドは84.5%です。



工事中のアリーナ内部

ケーブルテレビの民営化を検討

市で運営しているケーブルテレビ事業を、平成32年4月から民営化することを検討しています。

問 民営化に向けた今後の見通しは。

答 民営化の方法については、第三セクター、指定管理、民間譲渡、機器の貸し出しなどがある。放送法、通信に関する資格保有業者でなければならないことから、十分な検討を要する。

12月定例会

議論の中からピックアップ



平成29年度 一般会計補正予算を可決

生活介護、就労継続支援などの扶助費や総合防災公園外構工事の前倒しの事業費など7億1149万円を追加し、総額497億601万円となった一般会計補正予算を可決しました。

主な補正予算

生活介護、就労継続支援などの扶助費など	1億3199万円
総合防災公園外構工事の前倒しなど	6730万円
西目公民館シーガル移動観覧席の修繕	280万円

第三セクターのあり方検討委員会(仮称)設置

人口減少などで、第三セクターの経営は厳しくなっていることから、今後の在り方を検討する有識者による検討委員会を設置します。

問 どのようなことを検討するのか。

答 第三セクター8社について、外部有識者による「検討委員会」の中で、将来の経営見通しや、法人存続の可否を検討する。



(株)岩城



(株)フォレスト鳥海



にしめ物産(株)



(株)大内交流センター

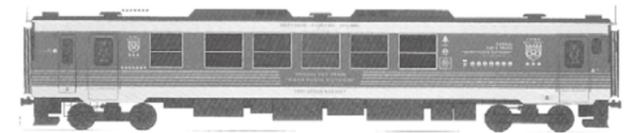
第三セクター経営の各施設(抜粋)

おもちゃ列車の運行を計画

平成30年7月にオープン予定の鳥海山木のおもちゃ美術館への訪問・観光振興を目的として、由利高原鉄道の車両に、木のおもちゃや、デザインを施したおもちゃ列車の運行を計画しています。

問 おもちゃ列車の詳細は。

答 由利高原鉄道の車両を改装するもので、内装は床材を木による張り替えとし、乗車数は41人で対面席となり、こどもデッキ、ウッドプール、おもちゃ棚、ウッドベンチ席などが設けられる予定である。また、木のおもちゃによる「子供の遊び場」が確保されている。多世代交流の拠点ともなる。



おもちゃ列車外観イメージ

「旧大倉沢報徳館」国の有形文化財登録へ

国文化審議会が「旧大倉沢報徳館」を、国の有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

問 国指定の経緯は。

答 現在大倉沢町内会館として利用されている「旧大倉沢報徳館」は、かつて地域の福利厚生機能をもつ施設としても利用されてきた。細部に洋風意匠を配した和洋折衷様式のモダンな造りであり、現存する数少ない大日本報徳社支社社屋の遺存例であるとして、国の有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申している。

※正式に登録されると、本市における国登録有形文化財の数は、12件38棟になります。



国の有形文化財登録予定の「旧大倉沢報徳館」(大内地域)